株式会社 イチケン

証券コード：1847

2025年3月期
決 算 説 明 会 資 料

2025年6月5日

人と未来に寄り添う「くらし空間」を。

ICHIKEN For Your Living Space

目 次

	page
Ⅰ. 2025年3月期　決算概要	3
Ⅱ.中期経営計画(2023-2025) トピックス	19

Ⅰ.

2025年3月期　決算概要

※
2024年8月31日をみなし取得日として、片岡工業株式会社を連結子会社化しております。また、本資料における「受注高」、「完成工事高」、「次期繰越高」及びその増減差(比)などについては株式会社イチケンの個別数値となっております。

事 業 環 境

1. 雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、景気の緩やかな回復が続くものの、米国新政権の関税引き上げ政策や中東情勢を中心とする地政学リスク、金融資本市場の変動等の状況を今後も注視する必要あり

2. 建設業界においては、政府建設投資は堅調に推移しており、民間設備投資については、脱炭素やデジタル化、企業収益の改善等を背景に高まりが見られたものの、慢性的な労働力不足や資材価格の高騰等により依然として厳しい経営環境が続いている

当社の取り組み

1. コア事業である「商業施設」建築のノウハウや企画・提案力を生かし、店舗等の新築・内装・リニューアル工事や宿泊施設の建設需要に対して積極的な受注活動を行う

2. 創業100周年を迎える2030年を目標とする企業像「ビジョン2030」（長期経営計画）、また初年度からの3ヶ年を「中期経営計画」（2023－2025）とした経営目標を設定し、目標達成に向けた施策を実行

当期の業績

■当第2四半期(中間期)より連結決算に移行
■前年同期においては連結決算財務諸表を作成していない
(参考)　前年同期の個別決算数値との比較では受注高は増加し、増収増益

(単位:百万円)

	連結 2025年3月期	公表値※1	達成率	イチケン個別 2024年3月期	イチケン個別 2025年3月期	
	金額	金額		金額	金額	前年増減
受注高	103,626	—	—	98,164	101,716	3,552
次期繰越高	90,255	—	—	81,425	86,963	5,537
売上高	98,999	98,000	101.0%	96,373	96,448	74
内訳 完成工事	98,730	—	—	93,264	96,178	2,914
内訳 不動産事業	269	—	—	3,109	269	▲ 2,840
売上総利益	10,508	—	—	7,021	10,044	3,023
内訳 完成工事	10,335	—	—	6,360	9,871	3,511
内訳 不動産事業	173	—	—	660	173	▲ 487
販売費及び一般管理費 ※2	3,642	—	—	2,920	3,297	376
営業利益	6,866	5,800	118.4%	4,100	6,747	2,646
経常利益	6,800	5,700	119.3%	4,020	6,677	2,656
特別損益	144	—	—	36	140	104
親会社株主に帰属する当期純利益	4,697	3,900	120.5%	2,938	4,687	1,749

※1　2025年2月13日に連結業績予想を修正　　※2　子会社株式取得関連費用を含む

種類別内訳①(イチケン個別)

(単位:百万円)

		受注高			完成工事高			次期繰越高		
		2024年3月期	2025年3月期	増減	2024年3月期	2025年3月期	増減	2024年3月期	2025年3月期	増減
建築工事	商業施設	38,212	58,310	20,097	54,124	43,306	▲10,817	25,677	40,681	15,003
	内訳 物販・店舗	35,343	37,633	2,289	47,725	35,703	▲12,022	19,977	21,906	1,929
	内訳 宿泊施設	2,706	18,164	15,458	6,114	5,449	▲665	4,211	16,926	12,715
	内訳 ｱﾐｭｰｽﾞﾒﾝﾄ施設	163	2,512	2,349	284	2,153	1,869	1,488	1,847	359
	住宅	16,941	28,812	11,870	25,188	15,907	▲9,281	20,530	33,435	12,904
	事務所	13,705	4,780	▲8,924	5,133	10,903	5,769	11,880	5,757	▲6,122
	工場・倉庫	28,777	9,634	▲19,142	7,834	25,614	17,779	22,982	7,002	▲15,979
	医療・福祉施設	50	63	13	486	66	▲419	2	—	▲2
	その他	438	24	▲414	490	331	▲159	307	—	▲307
	計	98,125	101,625	3,499	93,258	96,129	2,871	81,381	86,876	5,495
土木工事計		38	91	52	5	49	43	44	86	41
合計		98,164	101,716	3,552	93,264	96,178	2,914	81,425	86,963	5,537

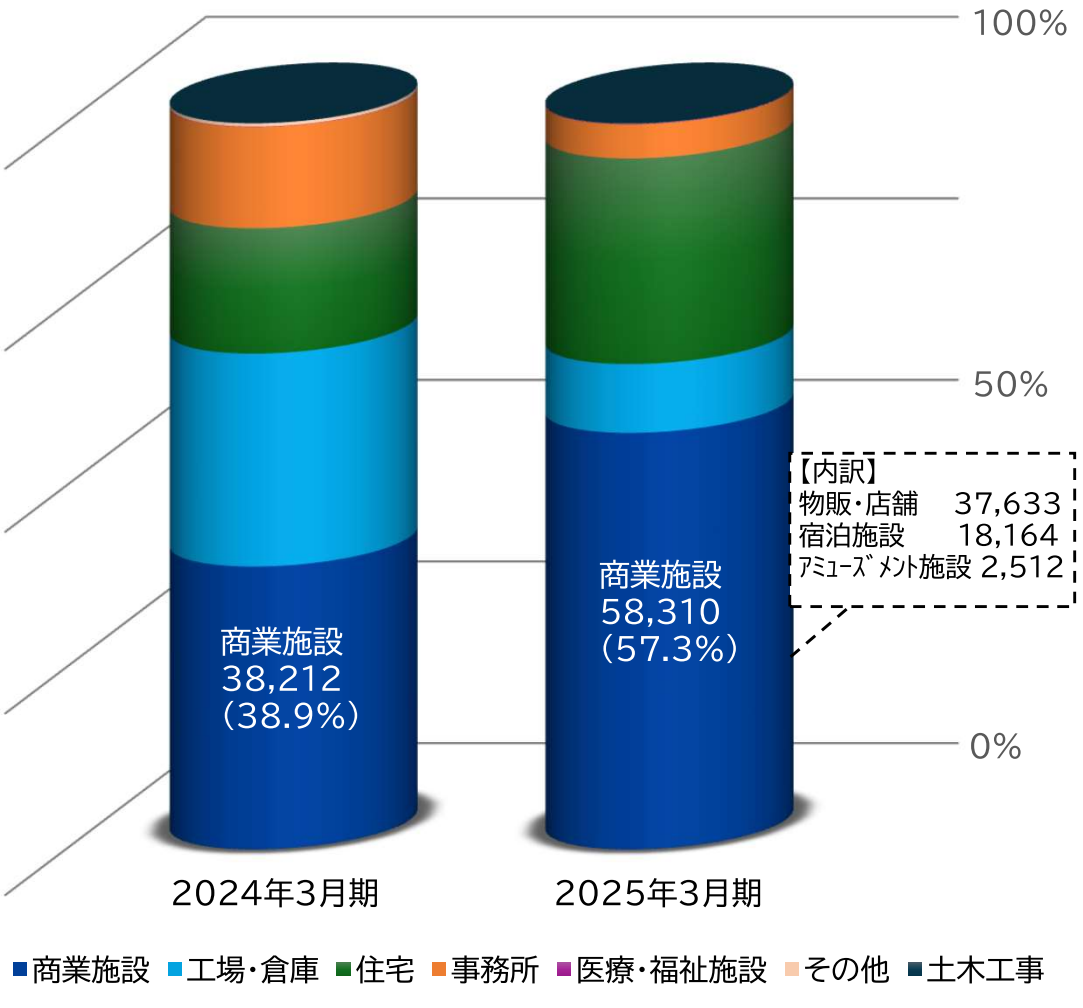
種類別内訳② 受注高(イチケン個別)

■商業施設の受注高は58,310百万円(前年同期比:+52.6%)

■商業施設は宿泊施設を中心とした受注獲得により増加

(単位:百万円)

	受注高					
	2024年3月期		2025年3月期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	差	比
商業施設	38,212	38.9%	58,310	57.3%	20,097	52.6%
住宅	16,941	17.3%	28,812	28.3%	11,870	70.1%
事務所	13,705	14.0%	4,780	4.7%	▲ 8,924	▲ 65.1%
工場・倉庫	28,777	29.3%	9,634	9.5%	▲ 19,142	▲ 66.5%
医療・福祉施設	50	0.1%	63	0.1%	13	27.3%
その他	438	0.4%	24	0.0%	▲ 414	▲ 94.5%
土木工事	38	0.0%	91	0.1%	52	135.4%
合　計	98,164	100.0%	101,716	100.0%	3,552	3.6%



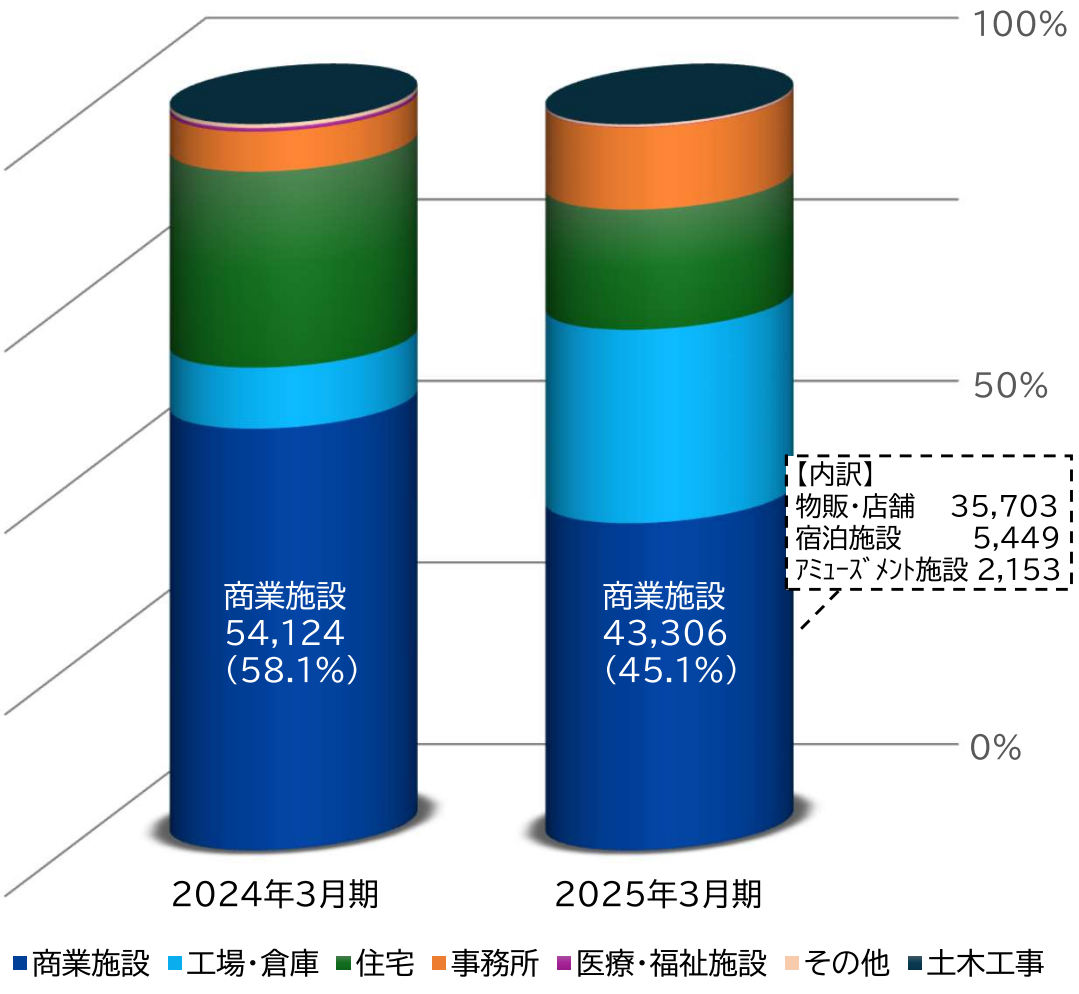
種類別内訳③ 完成工事高(イチケン個別)

■商業施設、住宅は減少。一方事務所、工場・倉庫は増加

※商業施設の完成工事高は43,306百万円(前年同期比:▲20.0%)

(単位:百万円)

	完成工事高					
	2024年3月期		2025年3月期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	差	比
商業施設	54,124	58.1%	43,306	45.1%	▲ 10,817	▲ 20.0%
住宅	25,188	27.0%	15,907	16.5%	▲ 9,281	▲ 36.8%
事務所	5,133	5.5%	10,903	11.3%	5,769	112.4%
工場・倉庫	7,834	8.4%	25,614	26.6%	17,779	226.9%
医療・福祉施設	486	0.5%	66	0.1%	▲ 419	▲ 86.3%
その他	490	0.5%	331	0.3%	▲ 159	▲ 32.4%
土木工事	5	0.0%	49	0.1%	43	725.4%
合　計	93,264	100.0%	96,178	100.0%	2,914	3.1%



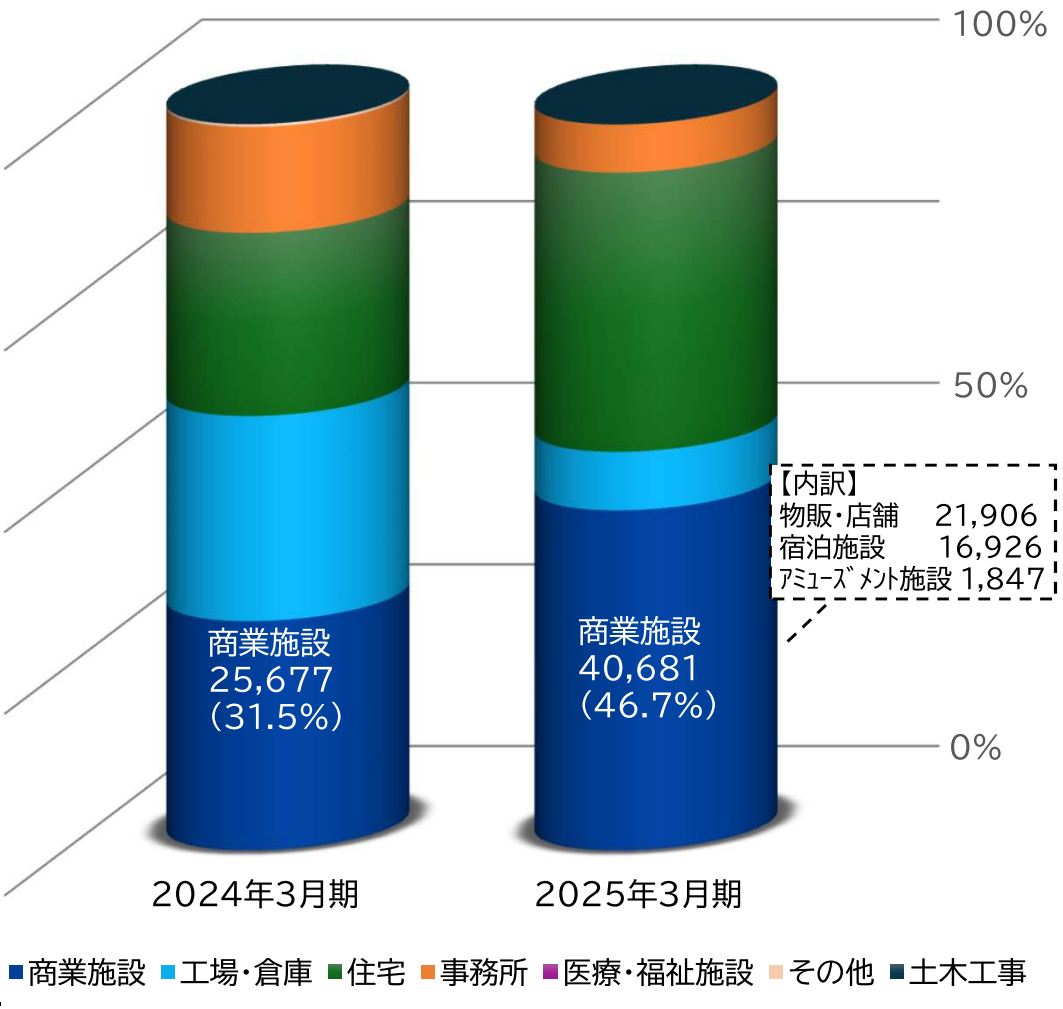
種類別内訳④ 次期繰越高(イチケン個別)

■次期繰越高は、約55億円増加

※商業施設の次期繰越高は40,681百万円(前年同期比:+58.4%)

(単位:百万円)

	次期繰越高					
	2024年3月期		2025年3月期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	差	比
商業施設	25,677	31.5%	40,681	46.8%	15,003	58.4%
住宅	20,530	25.2%	33,435	38.4%	12,904	62.9%
事務所	11,880	14.6%	5,757	6.6%	▲6,122	▲51.5%
工場・倉庫	22,982	28.2%	7,002	8.1%	▲15,979	▲69.5%
医療・福祉施設	2	0.0%	0	—	▲2	—
その他	307	0.4%	0	—	▲307	—
土木工事	44	0.1%	86	0.1%	41	94.0%
合　計	81,425	100.0%	86,963	100.0%	5,537	6.8%



主な完成工事、主な受注工事(イチケン個別)

■ 主な完成工事

工 事 名	主な建物用途	場 所
福岡DC (ニトリ福岡DC新築工事)	大型物流施設	福岡県
鳥栖物流センター (九州センコーロジ株式会社鳥栖物流センター新築工事)	大型物流施設	佐賀県
オーケー高井田店 (オーケー高井田店新築工事)	大型専門店舗	大阪府
須磨パティオ店 (須磨パティオリニューアルⅡ期工事)	複合商業施設	兵庫県
アパホテル〈赤羽岩淵駅前〉 (アパホテル〈赤羽岩淵駅前〉新築工事)	宿泊施設	東京都
FORECAST品川@LABO (港南五丁目PJ新築工事)	事務所	東京都

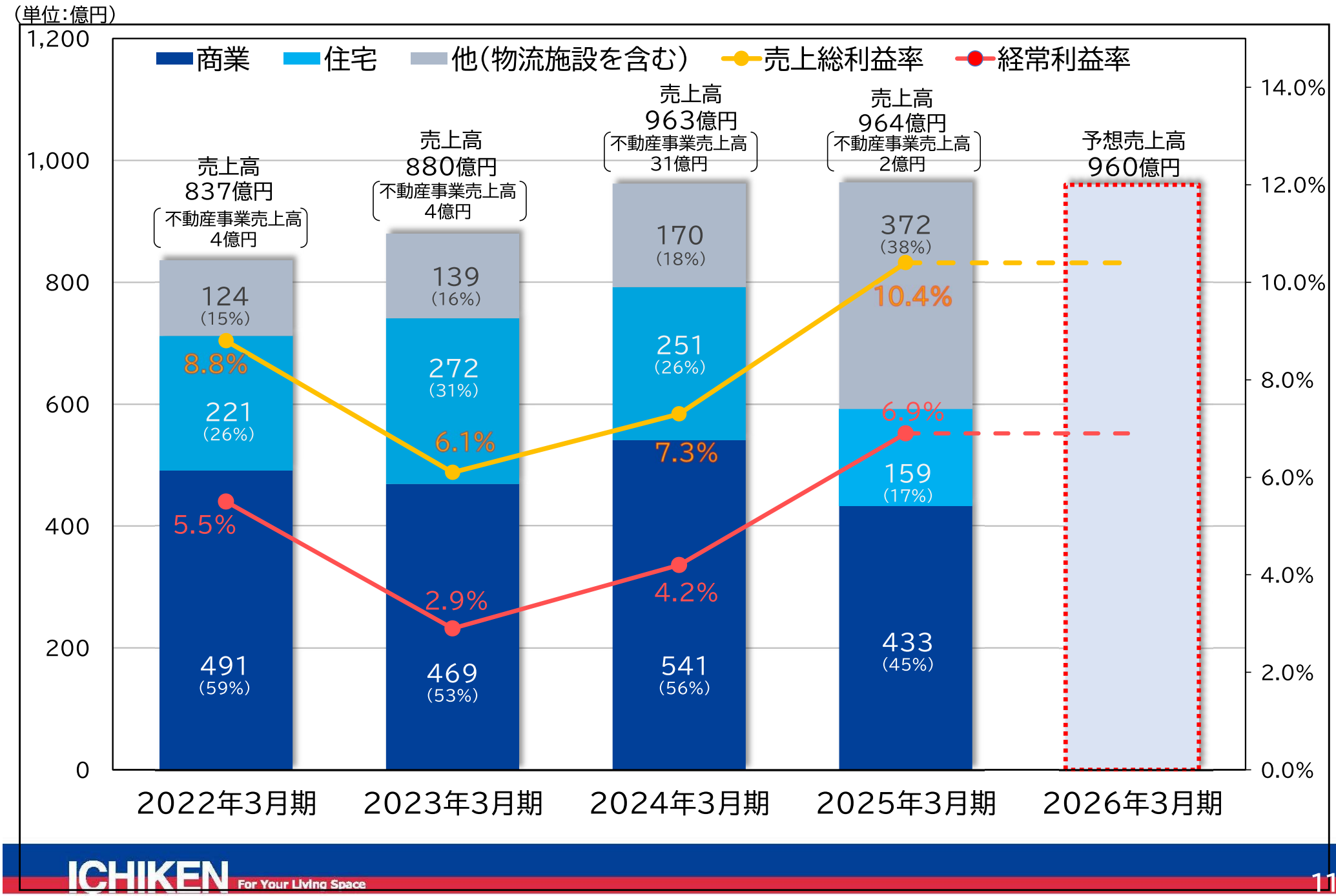
■ 主な受注工事

工 事 名	主な建物用途	場 所
コスモビューティー神戸新築工事	工場	兵庫県
ホテル浦安千鳥PJ新築工事	宿泊施設	千葉県
アパホテル＜さいたま新都心駅西＞新築工事	宿泊施設	埼玉県
新宿区下落合1丁目計画新築工事	マンション	東京都
東岸和田駅西口商業施設計画新築工事	複合商業施設	大阪府

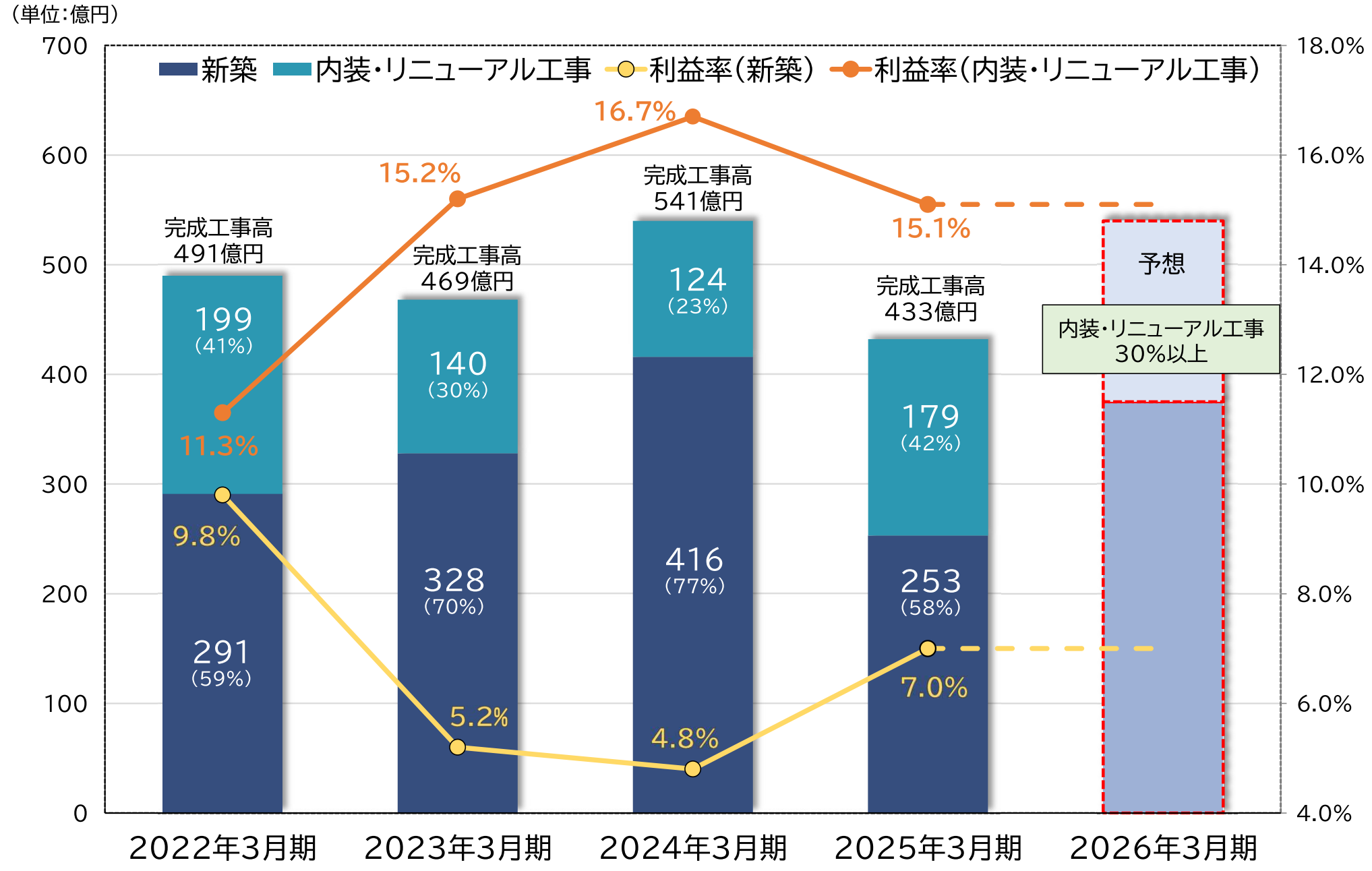
オーケー高井田店

アパホテル赤羽岩淵駅前

〔種類別〕売上高推移(イチケン個別 2022年3月期～2026年3月期)



〔商業施設／新築、内装・リニューアル工事別〕完成工事高推移（イチケン個別 2022年3月期～2026年3月期）



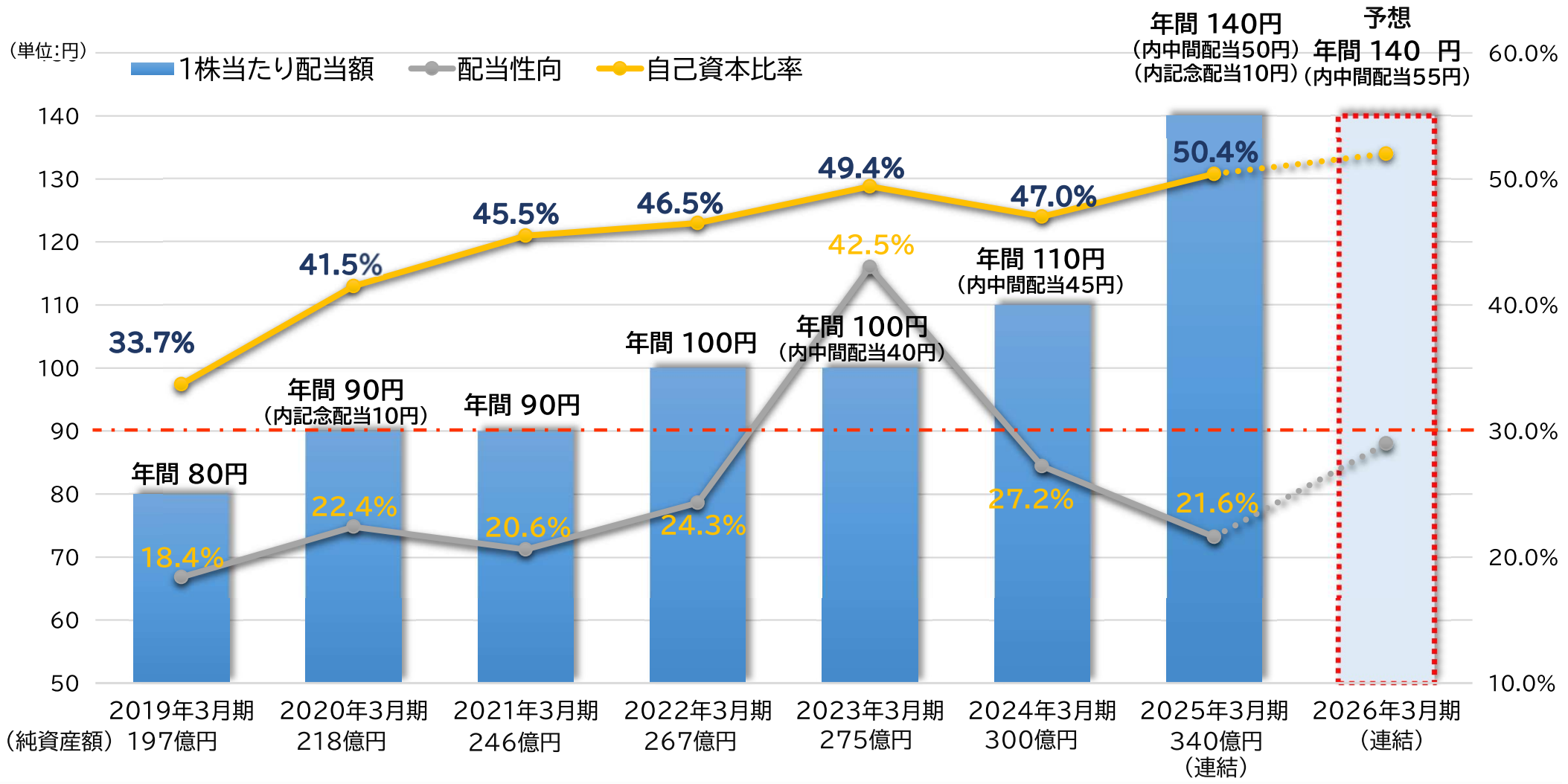
連結貸借対照表

（単位：百万円）

	連結 2025年3月期	イチケン個別 2024年3月期	イチケン個別 2025年3月期
資産合計	67,602	63,920	65,169
流動資産	62,005	60,011	58,213
固定資産	5,597	3,909	6,956
負債合計	33,514	33,840	31,098
流動負債	27,085	30,139	24,683
固定負債	6,429	3,701	6,414
純資産合計	34,087	30,080	34,071
自己資本	34,065	30,057	34,049
新株予約権	22	22	22

1株当たりの配当額の推移(2019年3月期～2026年3月期)

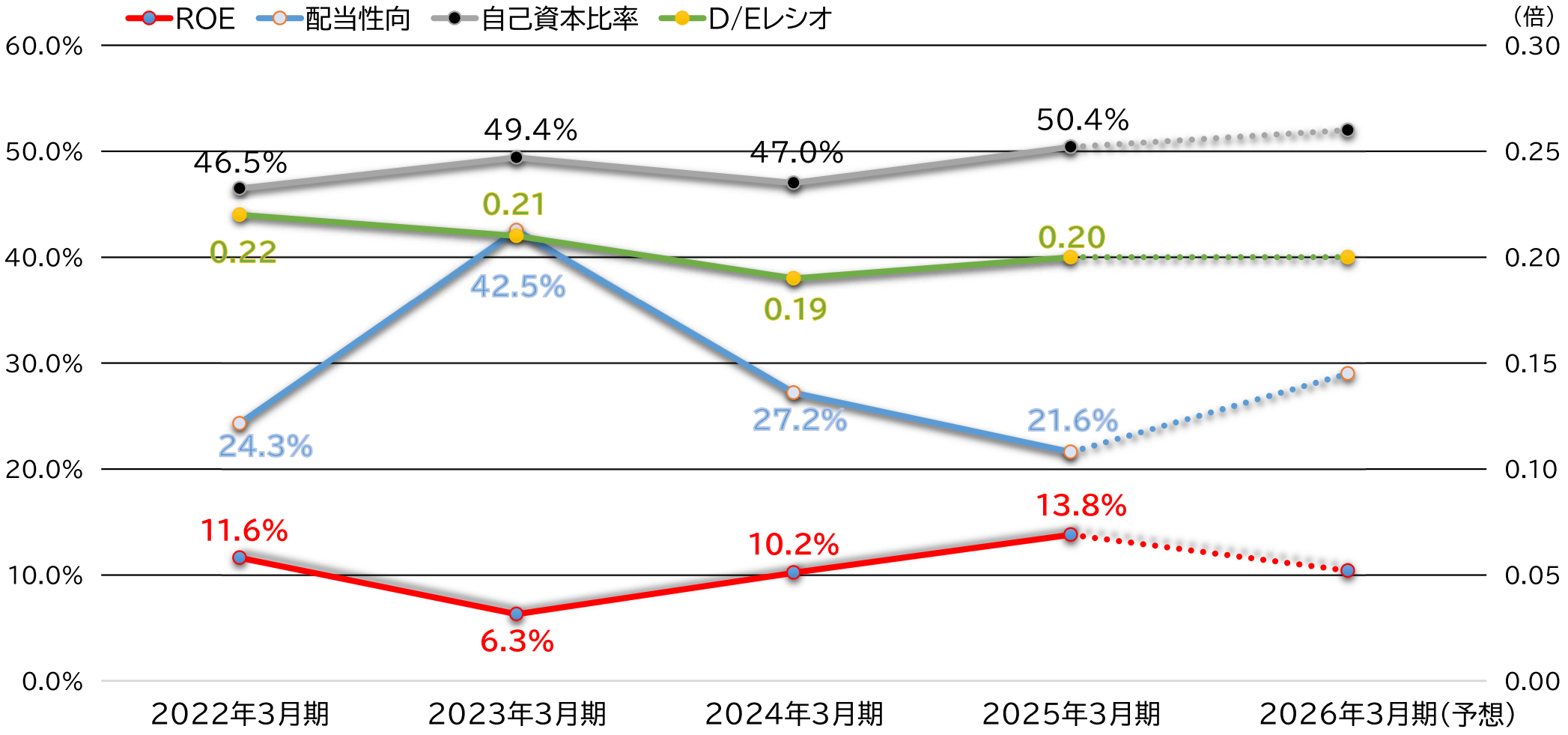
■成長への投資と安定した株主還元の両立を図る
■2026年3月期の配当予想額は1株当たり140円[中間55円　期末85円]
（業績予想からの配当性向 約29.0%）



重要評価指標の推移(2022年3月期～2026年3月期)

重要評価指標

- <ROE>
  8%以上
  (当期純利益÷自己資本)
- <自己資本比率>
  50%以上
  (自己資本÷総資産)
- <配当性向>
  30%程度
  (1株当たり配当額÷1株当たり当期純利益)
- <D/Eレシオ>
  0.3倍程度
  (有利子負債÷自己資本)



当社の株価の推移(2021年3月期～2025年3月期)

■株価は期初より上昇基調

■PBR1倍超に向けて中長期経営計画の数値目標の達成を目指す

(PBR＝株価÷1株当たり純資産)

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	2025年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,144
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,353
財務活動によるキャッシュ・フロー	75
キャッシュ・フロー計	6,865
現金及び現金同等物の期末残高※	19,889

※3ヵ月超定期預金等の非資金は除く残高

【営業活動によるCF】81億4千4百万円　資金の増加

・税金等調整前当期純利益	＋ 69億4千4百万円
・売上債権等の減少	＋ 56億5千9百万円
・未払消費税等の増加	＋ 22億2千1百万円
・仕入債務の減少	▲ 75億7千6百万円
・法人税等の支払額	▲ 11億7千万円

【投資活動によるCF】 13億5千3百万円　資金の減少

・投資有価証券の売却による収入	＋ 1億3千9百万円
・連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	▲ 10億8千5百万円
・差入保証金の差入による支出	▲ 2億8千万円

【財務活動によるCF】 7千5百万円　資金の増加

・長期借入れによる収入	＋ 29億9千2百万円
・長期借入金の返済による支出	▲ 20億1千4百万円
・配当金の支払額	▲ 8億3千2百万円

2026年3月期　通期連結業績見通し

■売上高は、前期とほぼ同水準の見込み

■利益は、人件費増、本社移転に伴う経費増、特別利益の減（前期政策保有株式の売却）により減益見込み

■配当金は、年間140円の同額を見込む（前期は記念配当10円があり実質増配）

（単位：百万円）

	（連結）2026年3月期			（個別）2026年3月期		
	金 額	前年増減	増減率	金 額	前年増減	増減率
売上高	99,000	0	100.0	96,000	▲448	99.5
（売上総利益率）						
営業利益	5,350	▲1,516	77.9	5,100	▲1,647	75.6
経常利益	5,200	▲1,600	76.5	5,050	▲1,627	75.6
親会社株主に帰属する当期純利益	3,500	▲1,197	74.5	3,500	▲1,187	74.7
1株当たり配当金	140円 （中間55円　期末85円）					

Ⅱ.

中期経営計画(2023-2025)
トピックス

中期経営計画(2023-2025)進捗概要　～ 経営目標・投資計画 ～

経営目標の達成状況

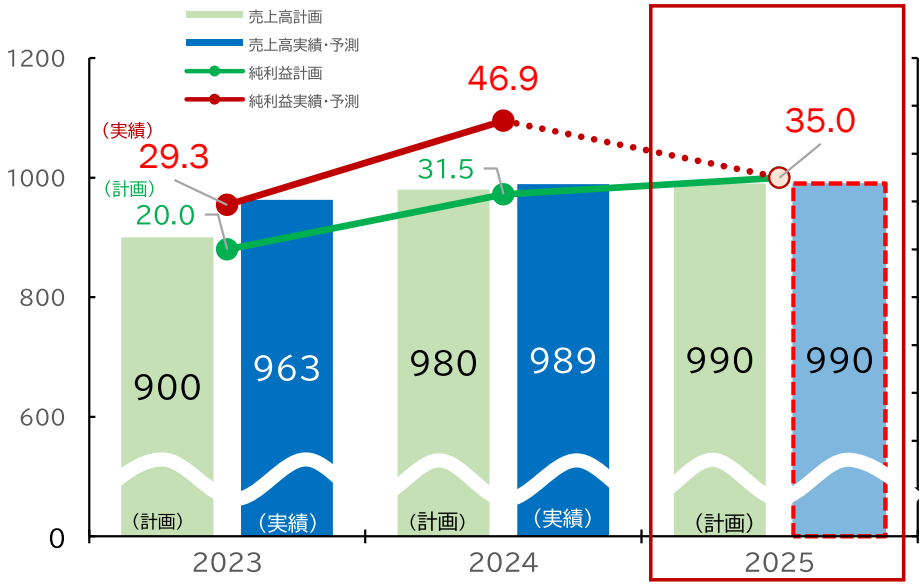
※ 2023年度は単体、2024年度以降連結ベースでの記載

	当計画期間内 目標値	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 目標
売　上　高	930億円	963億円	989億円	990億円
営業利益率	5%程度	4.3%	6.9%	5.4%
R　O　E	8%以上	10.2%	13.8%	9.9%
配 当 性 向	30%程度	27.2%	21.6%	29.0%

各年度の売上高・純利益計画対比

(単位:億円)

中期経営計画最終年度も計画達成を目指します



投資状況

■ 中期経営計画(2023-2025)現状見込100億円

成長投資

M&Aの実施等 — 35億円

- 片岡工業株式取得、事業領域拡大へ ※詳細は別紙で紹介
- 産学連携での技術開発継続
- ドローン資格取得・活用推進

不動産事業

工事受注創出への取り組み推進 — 45億円

- 神奈川県箱根町強羅で土地・建物を購入
  (施設のバリューアップ)
- 地権者への企画提案(三郷再開発)

海外事業

ベトナム子会社の体制整備推進 — 2億円

- BIMオペレーティング体制整備
- 人材獲得・育成 ※詳細は別紙で紹介
- ホーチミン事務所新設計画

人材開発

働き方改革を推進 — 8億円

- 業務効率化への投資を実施
- 技能研修等の充実
- 本社及び東京支店の移転

デジタル化

DX推進の取り組み — 10億円

- 作業効率向上へ向けたデジタル商材への投資実施
- 社内デジタル人材育成へ向けた教育を計画中
- 今期より「DX推進部」を新設、取り組みを加速

当社創業以来、最大規模の大型物流センターが竣工　～事業の中核となる建設事業の安定～

■ニトリ福岡DCが竣工

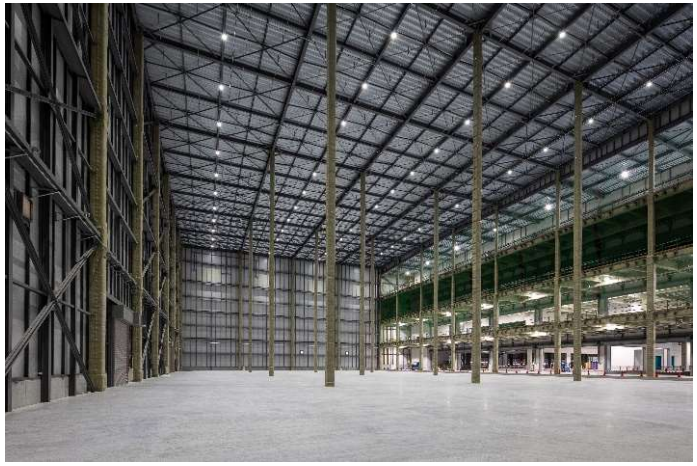
株式会社ニトリ様より、国内物流拠点再構築の一環として、大型物流センター「ニトリ福岡DC」の受注をいただき、当社の設計・施工にて2025年1月に竣工しました。

延床面積が9万2931.13㎡を誇る大規模な現場となり、全社をあげて取り組みました。また、「神戸DC」に続き、BELS評価で最高ランクを獲得し、“ZEB Ready”の認証を取得しました。

ニトリ福岡DC／物件概要

工事名	(仮称)ニトリ福岡DC新築工事
施設名	ニトリ福岡DC
工期	2023年9月1日～2025年1月14日
工事場所	福岡県福岡市
構造	S造6階建て
用途	倉庫業を営む倉庫
敷地面積	4万0982.46㎡
延床面積	9万2931.13㎡
事業主	株式会社ニトリ

ZEB PLANNER
ZEB29P-00076-PG



グループ会社　～持続的な成長に向けた事業領域の拡大～

■ 国内での取り組み　片岡工業株式会社

片岡工業 株式会社

◇2024年7月、全株式を取得し当社のグループ会社へ

明治創業の非常に歴史ある企業。
公共の土木・建築工事を主体とし、インフラ整備を通じた地域の発展に貢献してきた実績により、確固たる信用を築いています。

護岸工事や道路改良工事・造成工事など幅広く施工。
長年にわたって地域に根付いた企業活動を行い、限りある資源を有効に使いながら生活環境をより良いものに高める仕事を進めています。

【M＆A後の経営統合の状況】
投資家の皆様の意思決定に間違いが無いよう、イチケン・片岡工業共連結決算に向けた体制・グループ内部統制整備を進めました。
　今後、シナジー創出に向け更に連携を強化し、インフラの老朽化対策や国土強靭化等、土木需要を取り込み、事業領域の拡大を目指してまいります。

代　表　者	内山　幹雄
事業内容	総合建設業
創　　業	明治19年
所　在　地	千葉県長生郡 一宮町一宮3178

■ 海外（ベトナム）での取り組み　ICHIKEN Vietnam Construction

ICHIKEN VIETNAM CONSTRUCTION CO., LTD
《英文表記の略称：I.K.V.C.（アイ・ケー・ヴィ・シー）》

◇ベトナム ハノイを中心として活動（設立 2022年4月）

Fujimart（※住友商事とベトナム現地企業の合弁会社）からの店舗施工の受注を主軸として、現地での安定した建設事業展開へ向けた取り組みを進めています。

2024年5月オープン
FujiMart Chính Kinh

2024年9月オープン
FujiMart Trung Yên

【技術者のスキル向上に向けて】
BIMオペレーターをはじめ、デザイン・設備設計の担当者に対して、当社が教育等の支援を行うことで、グループ全体のスキル向上を目指しています。今後も、更に関係を強固にし、イチケンとI.K.V.C.でベトナムにおける事業を拡大していく所存です。

グループ会社　～持続的な成長に向けた事業領域の拡大～

SDGsへの取り組み　～ESG(環境・社会・ガバナンス)経営の実践～

●「イチケンのボランティア活動」をイチケン公式YouTubeチャンネルに公開

左記QRコードから動画を是非ご覧ください。

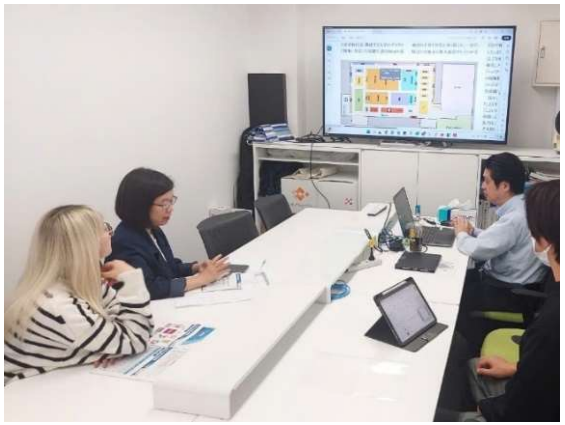
緑地保全活動の様子を紹介

●「ダイバーシティの推進」ページを開設

当社は、国籍や年齢、性別、障がいの有無に関わらず、すべての従業員の活躍を目指し、DE＆I(ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョン)を推進しています。この度、ホームページのサステナビリティページに「ダイバーシティの推進」を開設し、取り組みを紹介しています。

左記QRコードから「ダイバーシティの推進」のページを是非ご覧ください。

女性従業員と経営幹部との意見交換会



外国籍従業員の活躍推進

障がい者の雇用・活躍推進

95周年記念事業の取り組み

● 創業95周年記念事業を実施

当社は、2025年6月15日(日)に創業95周年を迎えます。創業100周年に向けて、さらに飛躍を遂げるように、すべてのステークホルダーに感謝を伝える事業を実施します。

◇社内公募で記念ロゴマーク決定

全国社員にアイデアを募り、次の100周年への思いを込めた記念ロゴマークが出来上がりました。

コンセプト

金色のオーラをたなびかせながら、次のステージに向かって進んでいくイメージ。

◇新キャラクターの誕生

「イチ犬くん」の仲間としてSDGs推進課長「イチナナちゃん」が誕生しました。今後の活躍にご期待ください。

名前の由来

イチケンの「イチ」とSDGsの「17の目標」の17(イチナナ)を合わせました。

宣伝部長 イチ犬くん　SDGs推進課長 イチナナちゃん

● 2025年夏に本社及び東京支店を「品川インターシティ」に移転します

当社は、2030年(創業100周年)までの長期経営計画「ビジョン2030」を公表しておりますが、基本方針のひとつとして「働きやすい職場を追求し、従業員一人ひとりの能力と働きがいを向上させる」ことを掲げております。

創業95周年を迎える節目の年に、職場環境の一新と今後の業容拡大に対応するための業務スペースの拡充やオフィス環境の整備による業務効率化を図ることも目的として、今回の移転を決定しました。

コーポレート
メッセージ

人と未来に寄り添う「くらし空間」を。
For Your Living Space

お客様・取引先・地域に暮らす人々・社員とその家族 全てのステークホルダーに対して、快適で豊かな社会の実現と社員の働きがい向上を目指し、「くらし空間」事業を通じて未来を創造・提案していく企業姿勢をこのメッセージに込めています。

当社ホームページ

動画でわかる!
イチケン

イチケンのこれまでの歩みや、
事業などのさまざまな動画を
ご覧いただけます

- 本資料は、株式会社イチケン(以下、当社)をご理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資活動勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予測ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果があります。

株式会社イチケン
財務経理部　高垣
TEL　03(5931)5642